

NEWS RELEASE

平成 18 年 7 月 3 日

株式会社 電通
代表取締役社長 侯木盾夫
(東証第 1 部 コード番号：4324)**電通、デジタルガレージ、サイバー・コミュニケーションズ、アサツー ディ・ケイと
共同で新会社「CGMマーケティング」を設立**

株式会社電通（東証一部：4324、本社：東京都港区、代表取締役社長：侯木盾夫、以下：電通）は、株式会社デジタルガレージ（JASDAQ：4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役グループ CEO：林 郁、以下：DG）、株式会社サイバー・コミュニケーションズ（東証マザーズ：4788、代表取締役社長：長澤秀行、以下：cci）、株式会社アサツー ディ・ケイ（東証一部：9747、本社：東京都中央区、代表取締役社長：長沼孝一郎、以下：ADK）と共同で、インターネット上で一般消費者が情報発信するブログ等のメディアの総称である CGM（Consumer Generated Media）を分析及び活用することにより、新たなマーケティング手法・施策を開発するための新会社「株式会社CGMマーケティング」を8月4日に設立する。

インターネット上のシステムやサービス連携の新しい形である Web2.0(*1) という考え方が広まる中、ブログに代表される CGM が Web2.0 の重要な構成要素となり、インターネット上のコンテンツの大きな部分を占めるようになってきた。現在 CGM の代表的なメディアであるブログの登録者数は 868 万人、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の登録者数は 716 万人（平成 18 年 3 月末、総務省発表）となっており、更なる急拡大をしている。また、サイト閲覧においても CGM への一人当たりの訪問頻度や平均利用時間は、企業サイトを大きく上回ると推定されている（社団法人日本広告主協会発表）。こうした変化の中、消費者の生活スタイルにおいても CGM コンテンツ（個人が発信する情報・クチコミ等）が重要な価値を持つようになってきた。

新会社「CGMマーケティング」は、こうした Web2.0 時代の変革に対応するため、CGM に関連する技術やノウハウを有する DG、広告・マーケティング事業を展開する電通及び ADK、そしてメディアレップとしてインターネットメディアに関する先端的なノウハウを有する cci といった各社のリソースを有機的に融合することで、Web2.0 時代のマーケティングをリードする新しい商品・サービスの開発をはじめ、CGM サイト及び関連企業・技術への投資・育成を行っていく。

具体的には、DG の子会社で日本最大級のブログ検索サービスを提供するテクノラティージャパン（本社：東京都渋谷区）の検索技術を活用した CGM 広告配信ネットワークの構築や、DG グループ企業の価格比較サイト「価格.com」、旅行のクチコミサイト「4travel.jp」、グルメのクチコミサイト「食べログ.com」を始め、すでに DG と事業提携しているシックス・アパート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：関 信浩）やその他グループ外の有力な CGM 運営企業とも連携し、新しいインターネットマーケティングの提案をしていく。

さらに新会社は、電通、DG、ADK の各グループのグローバルネットワークを最大限に活用して、日本で実証した新商品・サービスを、米国や中国をはじめとした海外市場で積極的に展開していく。

【株式会社CGMマーケティングの概要】

商 号 : 株式会社 CGM マーケティング
資 本 金 : 2 億円
所 在 地 : 東京都渋谷区富ヶ谷 2-43-15
代 表 者 : 代表取締役社長 林 郁 (現 (株)デジタルガレージ代表取締役グループ
CEO)
出 資 比 率 : 株式会社デジタルガレージ 51%
株式会社電通 17%
株式会社サイバー・コミュニケーションズ 17%
株式会社アサツーディ・ケイ 15%

(*1) Web2.0

2004 年頃から登場し始めた新しい発想に基づくWeb関連の技術や、Webサイト・サービスなどの総称。「2.0」という表現はソフトウェアの大幅なバージョンアップをなぞらえたもので、1990年代半ば頃から普及・発展してきた従来型WWWの延長ではない、質的な変化が起きているという認識を込めたもの。特定の技術やコンセプトがWeb 2.0 な訳ではなく「次世代のWeb」を漠然と総称する言葉である。